

2022

発行日 毎月1日 通算発行 430号

2



協会報



今月のトピックス

建設キャリアアップシステムの普及促進

最近の完成工事から

のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業
「上棚ゆずりレーン南伸1.0km」 石川県土木部道路建設課



《石川の工芸シリーズ④》

きんぎんぞうがんかん こがたおきもの
金銀象嵌諫鼓型置物

やまかわ こうじ

二代 山川 孝次【万延元(1860)年～昭和5(1930)年】

宗桂会館蔵

制作年／明治19～20(1886～1887)年 サイズ／胴径10×高さ33cm 技法／象嵌
警鐘の太鼓に鶏がとまるほど世が太平であることを意味する吉祥の置物にふさわしく、つがいの鶏が寄り添うように配されている。藩政期の名門白銀師、山川家の彫金技法を受け継いだ二代山川孝次による作品で、鼓胴には金の平象嵌による瑞雲が散らされ、輪花に囲まれた鼓面に彫り出された龍が、彫技の冴えと生動感を感じさせている。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2022

2



《石川の工芸シリーズ④》
さんざん ぞうがんかん こがたおきもの
金銀象嵌諫鼓型置物
二代 山川 孝次(やまかわ こうじ)

1	今月のトピックス	
	建設キャリアアップシステムの普及促進	1
2	最近の完成工事から	
	のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業 「上棚ゆずりレーン南伸1.0km」	
	石川県土木部道路建設課	2
3	令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3	
	株式会社江口組	4
	令和3年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.4	
	株式会社山崎組	6
4	2021年度第3回 建設業景況調査(石川県版)	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	8
5	地区協会コーナー	
	「羽咋の未来をともし、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」(仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点 (一社)羽咋郡市建設業協会	9
6	今月の「輝き!」さん No.83	
	北陸地建株式会社 北原由香さん	10
7	おすすめ 県政出前講座 vol.13	
	男女共同参画の推進～男女が共に活躍するために～ 石川県県民文化スポーツ部男女共同参画課	11
8	協会だより	
	足立敏之参議院議員「国政報告会」の開催 ～建設産業の再生なくして、日本の再生なし～	12
	石綿対策の規制強化に関する石川労働局長からの要請	12
	地区協会事務担当者説明会の開催	13
	委員会の開催	13
	土木委員会	
	役員会の開催	13
	建築委員会	
	「建築物の設計・監理、施工に関する働き方改革等意見交換会」の開催	14
	土地改良委員会	
	第2回技術検討部会の開催	14
9	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCM セミナー(DVD 講習会)の開催	14
10	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	令和3年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「建設業でのやりがい」 株式会社吉光組 藤原 颯	15
11	業界時報	
	労働災害発生状況	16
	令和3年度 建設工事受注高調(元請)	16
12	新入会ご挨拶	17
13	県協会からのお知らせ	18
14	地区協会からのお知らせ	18
15	関係機関からのお知らせ	
	石川労働局より 石綿の有無の事前調査結果の報告が施工業者(元請事業者)の義務になります!	19

◆ 今月のトピックス ◆

建設キャリアアップシステムの普及促進

石川県建設業協会（平櫻 保会長）は、建設キャリアアップシステムの普及促進を目的に、昨年12月から今年1月にかけて、県内9地区協会を訪問し、各地区協会の役員および会員企業に登録を呼びかけた。

平櫻会長が「建設キャリアアップシステム（CCUS）は、建設業に関わる技能者の資格・社会保険加入状況・現場の就業履歴などを登録・蓄積し、技能者の適正な評価や建設事業者の業務負担軽減に役立てるための仕組みとして国土交通省が推進している。建設業の大きな課題である担い手の育成・確保に関して、この仕組みができあがれば、将来を担う若い世代が自身のキャリアパスや処遇の見通しがもてるようになり、技能者を雇用し育成する企業の成長にも繋がっていくものと考えている。さらに今後、建退共システムとの連携も予定されており、ますます重要性が増していくことが見込まれる。制度の趣旨を理解していただいた上で、是非とも登録をお願いしたい」と挨拶。続いて協会の山岸専務理事が、下記のとおり建設キャリアアップシステムの詳細について説明した。

1. 建設キャリアアップシステムの概要
2. 公共工事発注者によるインセンティブ措置の導入
3. 国・各都道府県のモデル工事実施状況等

建設キャリアアップシステムについては、全建からも「技能者の処遇改善につながる道筋の早急な明確化」や「登録、機器導入等についての公共工事への積算計上」等について国に対して要望している。協会としても今後、制度が充実・強化されることを期待するとともに、継続して会員企業に登録の呼びかけを行っていく。

【日 程】

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 12月 2日(木) | 鳳輪建設業協会 |
| 3日(金) | 珠洲建設業協会 |
| 23日(木) | 小松能美建設業協会 |
| 1月11日(火) | 金沢建設業協会
加賀建設業協会 |
| 12日(水) | 河北郡市土建協同組合
七尾鹿島建設業協会 |
| 18日(火) | 白山野々市建設業協会 |
| 19日(水) | 羽咋郡市建設業協会 |



小松能美建設業協会



金沢建設業協会



羽咋郡市建設業協会

最近の完成工事から

のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業 「上棚ゆずりレーン南伸1.0km」

石川県土木部道路建設課

1 はじめに

ふるさと紀行「のと里山海道」は、能登地域と金沢を結び、広域交流の促進を図る交流基盤であり、能登地域の大動脈として産業・経済の発展に資するとともに、地域の生活道路としても大変重要な役割を担っています。

これまで、平成25年3月の全線無料化に加え、平成26年度には柳田IC以南を4車線化するなど、利便性向上や人やモノの交流拡大に取り組んできたところです。

一方で、柳田IC以北の2車線区間では、交通量の増加に伴い、速度低下や渋滞が発生していたことから、走行性や安全性の向上、交通混雑の解消を図るため、平成27年度より柳田ICから上棚矢駄IC間9.6kmの4車線化事業を進めています。

令和2年4月には上棚地内の既設ゆずりレーンを南側へ1.9km延伸させ、のと里山海道で最長となる3.4kmのゆずりレーンを供用させており、更に、令和3年12月5日には新たに1.0kmの延伸区間が完成しました。

2 事業概要

路線名：ふるさと紀行「のと里山海道」

(主要地方道 金沢田鶴浜線)

事業箇所：羽咋市柳田町～羽咋郡志賀町上棚 地内

事業期間：平成27年度～

延長：L=9.6km

道路規格：第1種第3級

幅員：W=14.0 (20.5) m



図-1 事業箇所図



写真-1 柳田IC付近の渋滞状況

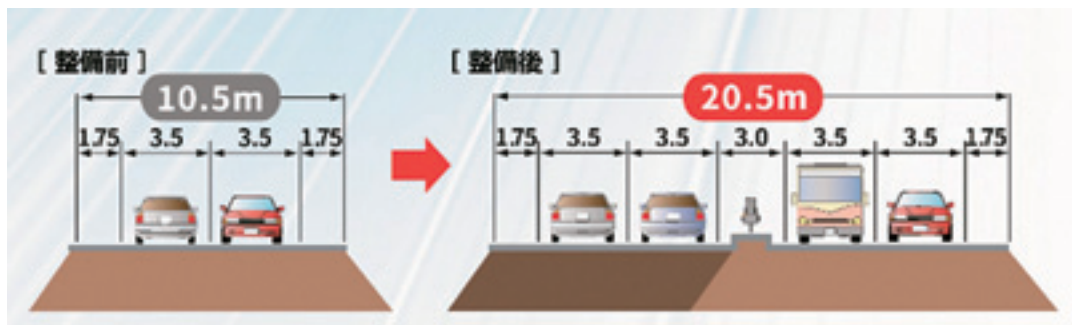


図-2 標準断面図

3 事業の効果

①能登・金沢の時間距離の短縮

柳田ICから上棚矢駄IC間9.6kmの4車線化事業完成により、のと里山海道88.4kmのうち、約6割の区間が4車線となることで、走行速度が速まり、能登地域と金沢間の移動時間の短縮が図られます。

②能登地域の定住促進

4車線区間の拡大により、能登地域における通勤圏域の拡大や物流の効率化が図られ、移住・定住の促進や企業立地など更なる能登地域の活性化が期待されます。

③安全・安心な交通環境の確保

4車線化に伴い対面通行が解消され、安全性が向上するとともに、大規模災害時には、道路が被災しても交通を確保しながら復旧工事を進めるため、緊急車両の通行や物資輸送が可能となり、安全・安心な交通環境が確保されることとなります。

4 完成式典

令和3年12月5日(日)には、石川県及びのと里山海道整備促進期成同盟会の主催により、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、完成式が開催されました。

式典は午前11時から上棚矢駄ICに隣接する上棚除雪ステーションにて執り行われ、知事や七尾市長をはじめとした奥能登、中能登の首長、工事に携わった関係者の方々に出席いただきました。



写真-2 完成式 鏡開き

5 おわりに

今後も、4車線区間の更なる拡大を図りながら、まずは柳田ICから続く急勾配区間における交通混雑の早期解消に向けて整備を進めていきます。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げます。



写真-3 今回完成した4車線区間の状況
(羽咋市上中山町地内)



写真-4 4車線化工事中区間の状況
(羽咋市寺家町地内)



掘削完了



鉄筋組立状況



コンクリート打設



完 成

■現場代理人のコメント



現場代理人
渡辺隆則氏

この度は名誉ある石川県土木部優良建設工事知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。これも南加賀土木総合事務所担当監督員並びに職員の皆様、地域住民の皆様方、また工事関係者の方々のご協力のおかげであると深く感謝申し上げます。

本工事は、海岸より約3.0kmであること、さらにカルバートボックスのコンクリート打設時が冬季の季節風を受ける過酷な条件のもとでした。そのためコンクリートの品質を確保するための対策として、コンクリート温度応力解析による計画を立てました。コンクリート内部温度や表面温度そして養生温度を測定し、徹底した温度管理によりコンクリートのひび割れを抑制しました。

また現地は地下水が高く、埋戻し後の漏水がないように打設時には挿入深さを明示したバイブレーターを準備し、壁のコールドジョイントがないよう工夫しました。

安全対策として、現場内危機管理マップを作成し作業員、関係者と情報を共有しながら地域の住民の安全確保に努めました。

最後に本工事が無事故、無災害で完成できたことに感謝いたします。

令和3年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.4

施工企業名：株式会社山崎組

■工 事 名 令和2年度 流木防止総合対策事業
原井谷地区 溪間工事

■施 工 場 所 白山市尾添地内

■工 事 概 要

谷止工（コンクリート流木捕捉）

$L = 46.5\text{m}$ $H = 1.1\text{m}$

$V = 368.8\text{m}^3$



完成写真

■工 期 令和2年8月6日～令和2年12月10日

■推 薦 理 由

山間地の狭隘な箇所での溪間工事

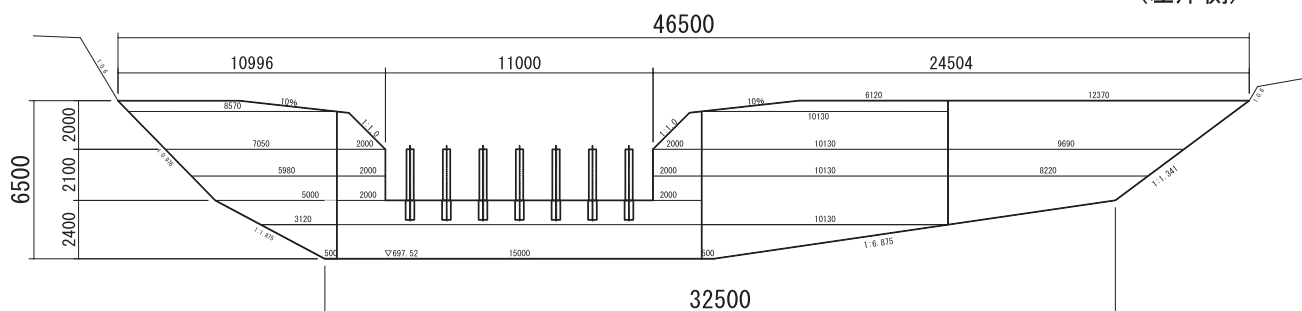
本工事は山間地の狭隘な地形のため、資材運搬に使用する仮設道の路肩、路盤を整備するなどコンクリートの供給遅れがないよう対処し、外観もよく、品質、出来栄とも良好であった。また、河川の流域面積が大きく、特に降雨後の現場作業については、河川からの水の流入により作業の妨げや安全対策など、きめ細やかな施工管理及び安全管理が求められていたが無事故で遅延無く工事を完成させたことから、他の模範となる工事である。



完成写真

(右岸側)

(左岸側)



谷止工構造図



現場下流での沈殿池設置



現場上流での警戒水位表示



仮設道路の整備及び安全柵設置



挿し筋の錆止め塗布



路肩保護の為に敷き鉄板設置



コンクリート打設状況

■現場代理人のコメント



現場代理人
村下 平氏

この度は、栄誉ある優良建設工事知事表彰を賜り、心より厚く御礼申し上げます。本工事は、流木防止を目的とした延長46.5m、高さ6.5mの谷止工事でした。

現場下流には白山市の水道施設もあり、河川の汚染がないよう汚泥水の処理には十分注意をはかり施工しました。

河川の切り替えや打設割りスパンも15箇所と多く、コンクリート養生期間を考慮しながらの工程管理を行いました。また、仮設道路も1車線で現場周辺の場所も狭いことからコンクリート打設時は生コン車との無線連絡を行い、打設時間にも注意し、打設しました。

雨天時には河川上流に土石流監視員を設置し、監視員が一目で危険水位が分かるように警戒水位表示を設置しました。また仮設道路、大型車両Uターン場所、生コンポンプ車設置場所には敷き鉄板を設置し、転落転倒防止に注意しました。

最後に、石川農林総合事務所、白山市水道課、地域の皆様、この工事を理解し作業にあたって下さった皆様の協力により安全に工事を完遂出来たことを深く感謝申し上げます。

2021年度第3回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証（株） 石川支店

＜概 要＞

- 官公庁工事は、「減少」傾向が続いている。
来期は、「減少」傾向がかなり強まる見通し。
- 資材の価格は、「上昇」傾向が続いている。
来期は、「上昇」傾向がやや弱まる見通し。
- 建設労働者の確保は、「困難」傾向が続いている。
来期は、「困難」傾向が続く見通し。

【今期：前期（2021年7～9月）に比べた今期（2021年10～12月）の状況】

【来期：今期（2021年10～12月）に比べた来期（2022年1～3月）の状況】

項 目		前期	今期		来期	
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業 況 等	地元建設業界の景気※	▲9.0	⇩	▲10.0	⇩	▲14.0
(2)受 注	受 注 総 額※	▲14.0	⇨	▲14.0	⇩	▲23.5
	官 公 庁 工 事※	▲11.0	⇩	▲12.5	⇩	▲23.5
	民 間 工 事※	▲14.5	⇩	▲15.5	⇨	▲14.5
(3)資 材	資 材 の 調 達※	▲15.5	⇩	▲16.5	⇩	▲17.5
	資 材 の 価 格	31.0	⇨	32.5	⇩	28.0
(4)労 務	建 設 労 働 者 の 確 保※	▲17.0	⇨	▲15.5	⇩	▲16.0
	建 設 労 働 者 の 賃 金	15.0	⇩	14.5	⇩	14.0
(5)収 益	※	▲3.5	⇩	▲4.0	⇩	▲12.0

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
 ・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
 ・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス＝景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」}と回答した企業割合 - \text{「悪い」}と回答した企業割合)}{2} \times 1/2$$

※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先

東日本建設業保証（株） 石川支店 TEL：076-242-1231

地区協会コーナー

「羽咋の未来をともす、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」 (仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点

(一社)羽咋都市建設業協会

羽咋市では、市の中心部に位置し、羽咋の玄関口の一つである JR 羽咋駅西口の商業施設跡地を活用し、(仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点整備を進めています。



羽咋駅周辺賑わい交流拠点の外観透視図

これまで、市民アンケートや意見交換会、パブリックコメントなどを実施し、平成31年3月に「羽咋駅周辺整備基本構想」を策定しました。また、本構想を踏まえながら、公募市民や学識経験者、財務局、石川県、関係諸団体で構成する策定委員会をはじめ、「いしかわPPP/PFI地域プラットフォーム」におけるプレサウンディングや民間事業者のノウハウやアイデアを聞くサウンディング型市場調査、各種研修会、学習会など、市民に加え、産・官・学・金融などの様々な方々からのご意見を集約し、令和2年3月に「羽咋駅周辺整備基本計画」を策定しました。

本計画の基本コンセプトである「羽咋の未来をともす、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」に基づき、子どもから高齢者までさまざまな世代が集いふれあう場として、羽咋駅周辺と市全体の賑わい創出に寄与する施設となるよう事業に取り組んでいます。

本施設は「交流・広場機能」である公共部分と「商業機能」である民間部分に分かれ、民間の技術力・経営的能力を活用することで、市民ニーズに合致した質の高い公共サービスの提供や、効果的・効率的な業務遂行による市の財政負担の軽減を図るため、官民連携事業による事業者の公募を実施し、令和3年11月にエステック不動産投資顧問(株)を代表企業とするグループを官民連携事業予定者に決定しました。

○交流拠点整備内容（現時点での事業予定者からの提案内容であり、詳細は今後協議していきます）

1) 公共部分（4階建て延床面積約3,000㎡（鉄骨造））

- 1階「カフェと一体となった図書・学習空間」、2階「子供・大人も楽しめる屋内公園」
 - 3階「多様な世代がまざりあうシェアスペース」、4階「のびのびと運動が楽しめるシェアスペース」
- ※多世代を対象としたイベントを年間200回以上開催するなど、賑わい創出につなげる仕組み。

2) 民間部分

別棟で、計画では顔認証システムやAIカメラなどのDXを活用した無人型のスポーツジムや物販店を設置し、事前に顔と決済手段を登録することで、手ぶらで買い物できるようになります。

令和6年夏頃の開業を目指し、様々な世代が集いふれあう「サード・プレイス」として、駅周辺及び市全体の賑わい創出につながる施設となるよう整備を進めています。

(資料提供：羽咋市産業建設部都市づくり推進室)



1階 内観イメージ



2階 内観イメージ

今月の「輝き！」さん

No. 83



北陸地建株式会社 北原由香さん

経験年数：1年10ヶ月

年 齢：20歳

金沢市出雲町の北陸地建株式会社に「今月の輝きさん」北原由香さんを訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。

当社は、金沢市出雲町に本社を置く、昭和48年創業（昭和54年法人設立）の社員22名の建設会社です。先代社長からの『夢広がる未来創り』を理念として、各地域の区画整理事業や河川改修工事をはじめ、街路整備や電線共同溝、上下水道等のインフラ工事に携わってきました。品質確保と環境保全に努め、地域との共存・共栄を図り、次世代の担い手育成に邁進する会社です。

ー入社の動機等について教えてください。

私は、中能登町で三人兄弟の末っ子として育ちました。地元の小・中学校を経て金沢市立工業高校の土木科に入学しました。小学校の通学路で工事をしているのを見かけたときに、生活をより便利にする仕事に憧れをもちました。将来は自分もこんな仕事に就きたいと思い工業系の高校を選びました。3年生になり就職先について迷っていたところ、先生から先輩も働いている北陸地建株式会社を紹介していただきました。

ー会社では初めての女性技術者とお聞きしましたが。

私が当社で初めての女性技術者であることは入社後に知りました。建設業で働く女性技術者も少しずつ増えていることは学校で聞いていましたし、実際に技術者として活躍している先輩も知っています。これからの男女共同参画の時代に女性技術者第1号として採用していただいた会社の期待にしっかり応えたいと思います。

ー入社して日が浅いですが今の感想を一言。

建設業界は男社会というイメージがあり、当初は多少の不安もあったのですが、私は元来楽天主であり、何とかなるだろうという気持ちでこの業界に入りました。今はいろいろな現場を回って勉強中ですが、職人さんや協力会社の方々にとてもやさしく接していただき感謝しています。

ー現場を経験して感じたことは？

ー昨年末に初めて消雪設備の点検現場に出ました。降雪を前に水の出具合等を点検し不具合を整備します。道路の除雪をはじめ、こうした建設業者の仕事が地域の方々の安全・安心に繋がっていると思うと、改めてこの仕事にやりがいを感じます。

ー休日の過ごし方等について教えてください。

休日は、部屋の掃除をしたり買い物をしたりして過ごしています。今はコロナ禍でもあり自宅にいる時間が多く、好きなゲームや読書を楽しんでいます。

ー最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は2級土木施工管理技士の資格を取ることです。毎日の仕事の中にも受験のために参考になると思うことが沢山あります。まだまだ勉強の毎日ですが、上司や先輩方から教えていただいたことを無駄にすることなくすべてを吸収し、早く会社に貢献できるよう頑張りたいと思っています。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ 県政出前講座

vol.13

今月のテーマ

男女共同参画の推進～男女が共に活躍するために～

石川県県民文化スポーツ部男女共同参画課

「男女共同参画の推進」では、県の施策の取組みや県内の状況、また「男女共同参画って何だろう」といった男女共同参画や女性活躍に関する基本的な事柄も説明しています。多くの方にご利用いただき、職場や家庭など幅広い分野で男女共同参画の意識を高めていただければ幸いです。

男女共同参画とは／なぜ男女共同参画？

男女共同参画や女性活躍とは何かをわかりやすく説明します。また、本格的な人口減少を迎える中、男女共同参画を進める必要性や、企業において、どのような効果が表れているかをご紹介します。

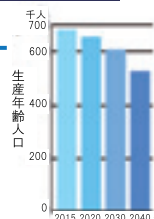
なぜ男女共同参画？～石川県の将来推計人口～

生産年齢人口(15-64歳)の推移

石川県においても、少子高齢化により、生産年齢人口は急激に減少します。20年後には8割以下に。

年次	2015年	2020年	2030年	2040年
生産年齢人口(人)	683,639	654,602	606,643	525,905
指数※	100.0	95.8	88.7	76.9

※2015年の生産年齢人口を100としたときの値



石川県内の男女共同参画の状況

男女別の就業状況、家庭と仕事の調和、男女共同参画に関する県民の意識や女性が職業を持つことの意識の変化などのほか、男女が共に生き活きと活躍する県内企業の好事例を紹介します。

社会全体で男女の地位は平等になっていると思いますか



県の男女共同参画施策の取り組み

県は、性別にとらわれることなく、すべての人が個性と能力を発揮できる社会を目指しています。アドバイザー派遣や認定制度など企業に向けた取り組みや、家事分担など家庭での男女共同参画を進める取り組みなどを紹介します。

いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」認定制度



県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、155件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員(県庁職員)が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用(旅費・軽微な資料代など)は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>) 詳しい申し込み方法をご覧ください。ただけです。「石川県 出前講座」で検索してもすぐ見つかります。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

(石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp)

協 会 だ よ り

足立敏之参議院議員「国政報告会」の開催
～建設産業の再生なくして、日本の再生なし～

開催日時 令和4年2月2日(水) 13:00～14:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 平櫻 保会長以下役員38名

概 要

平櫻会長の挨拶に続き、足立敏之参議院議員から、国会での取り組み状況について報告をいただくとともに意見交換を行った。足立議員は、最近の日本経済の動向や建設産業を取り巻く厳しい環境を踏まえながら、「近年の公共投資削減の影響を受けて、毎年大規模な災害に見舞われる脆弱な国土の立て直しを図るとともに、諸外国に比較して低水準で貧弱な港湾・空港・高速道路等の交通インフラの再生を図る必要がある、そのためには、公共事業予算の拡充による経済対策が必要。また、インフラ整備の重要な担い手である建設関連産業についても『建設産業の再生なくして、日本の再生なし』の考えのもとに新たな新3K（給与、休暇、希望）を達成し、仕事のしやすい環境づくりに努めていく」と述べられた。



足立敏之参議院議員



国政報告会会場

石綿対策の規制強化に関する石川労働局長からの要請

要請日時 令和4年1月25日(火) 10:30～11:00
場 所 石川県建設総合センター
出席者 石川労働局 吉田研一局長、宮野廣之健康安全課長
県協会 平櫻 保会長、山岸 勇専務理事
防災防石川支部 久保貞人専務理事、加藤雅章事務局長

概 要

石綿障害予防規則の改正が行われ、石綿が使用された建築物・工作物・鋼製の船舶の解体工事や改修工事を行う際の規制が強化されており、多くの規制が令和3年4月から施行されている。また、令和4年4月1日以降に着工する解体・改修工事を対象として、石綿に関する事前調査結果を労働基準監督署・自治体に報告する制度が始まることから、吉田研一石川労働局長が当協会を訪れ、平櫻 保会長に石綿ばく露防止対策の積極的取り組みについて要請した。

吉田局長から、改修工事に対する石綿対策の規制強化について会員への周知を求められたのに対し、平櫻会長は、「石綿対策については、すでに熱心に取り組んでおり、今後も講習会や協会のホームページ等を通じて更に周知徹底を図りたい。」と応えた。



吉田局長から要請書を受け取る平櫻会長

地区協会事務担当者説明会の開催

今年度の標記説明会を下記のとおり、県内9地区協会253名出席の下、開催した。

日程

- 1月26日(水) 河北地区(17名)
- 1月27日(木) 珠洲地区(12名)
鳳輪地区(42名)
- 1月28日(金) 羽咋地区(14名)
七尾地区(34名)
- 1月31日(月) 金沢地区(55名)
白山地区(21名)
- 2月1日(火) 小松地区(34名)
加賀地区(24名)



プログラム

1. ①建設業における法令遵守について
②入札・契約制度について 石川県土木部監理課
2. 全建協連総合補償制度について 損保ジャパンパートナーズ株式会社
3. 東日本保証からのご案内 東日本建設業保証株式会社 石川支店
4. 高齢者の雇用の為の助成金について
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 石川支部
5. 法定外労災補償制度について 公益財団法人 建設業福祉共済団
6. 事務局からのお知らせ 一般社団法人 石川県建設業協会

委 員 会 の 開 催

土木委員会

◎役員会の開催

- 開催日時 令和4年1月13日(木) 12:00~15:00
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 正副委員長4名、副会長6名、懇話会座長1名
 懇話会副座長1名、懇話会(世話役)4名、事務局1名

概 要

2月9日(水)に開催する「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題について審議した。会員企業から寄せられた入札関係や総合評価関係、設計積算関係、施工関係、監督検査関係などに関する議題について項目ごとに検討し、15議題を意見交換会の提案議題として選定した。また、1月下旬の新年会と3月下旬に計画している現場視察・研修会について審議した。

主な審議内容は以下のとおりである。

〈審議事項等〉

1. 金沢河川国道事務所との意見交換会の提案議題について
 - 1) 土木委員会会員企業からの意見・要望等
 - 2) 課題抽出・提案議題選定
 - 3) 議題説明者の選任
 - 4) 意見交換会の議事次第
2. 新年会について
 - 1) 参加状況等について
3. 現場視察・研修会について
 - ・実施内容について
 - ・負担金について
4. その他



会議状況写真

建築委員会**◎「建築物の設計・監理、施工に関する働き方改革等意見交換会」の開催**

開催日時 令和4年1月26日(水) 10:30~13:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 建築士事務所協会 6名
建築設計監理協会 1名
建築委員会 4名

概 要

建築設計団体、建築施工団体が抱えている働き方改革（長時間労働対策、担い手不足対策、適正な設計期間及び工程等）について、公共建築物の施工では週休2日体制を取得することは改修工事等を除き十分に可能だが、民間建築では発注者の理解を得ることは難しい状態にある。工期が短い物件でも受注する施工者がいることが問題であり、発注者、施工者の意識改革が必要であるなど忌憚なく意見交換した。

簡単に解決できる問題ではなく、今後とも継続的に本意見交換会を開催していくことを申しあわせた。

**土地改良委員会****◎第2回技術検討部会の開催**

開催日時 令和4年1月14日(金) 10:00~12:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 技術検討部会 部会長以下17名

概 要

小柳 誠技術検討部会長の挨拶に続き、

- ・県農林水産部との意見交換会における意見・要望事項
- ・現場研修会の実施に係る内容等

について審議するとともに、

- ・家畜伝染病防疫訓練・講演会の計画状況
- ・今年度の土地改良委員会の取組状況

について報告の後、意見交換を行った。

**石川県土木施工管理技士会だより****JCM セミナー（DVD 講習会）の開催**

開催日時 令和4年1月24日(月) 9:00~17:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 18名

概 要

講習会は、DVDによる講義（事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ、基礎から学ぶ道路（舗装）の維持管理講座）の形式で行われ、受講者にはCPDSが6ユニット付与された。



建築委員会**◎「建築物の設計・監理、施工に関する働き方改革等意見交換会」の開催**

開催日時 令和4年1月26日(水) 10:30~13:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 建築士事務所協会 6名
建築設計監理協会 1名
建 築 委 員 会 4名

概 要

建築設計団体、建築施工団体が抱えている働き方改革（長時間労働対策、担い手不足対策、適正な設計期間及び工程等）について、公共建築物の施工では週休2日体制を取得することは改修工事等を除き十分に可能だが、民間建築では発注者の理解を得ることは難しい状態にある。工期が短い物件でも受注する施工者がいることが問題であり、発注者、施工者の意識改革が必要であるなど忌憚なく意見交換した。

簡単に解決できる問題ではなく、今後とも継続的に本意見交換会を開催していくことを申しあわせた。

**土地改良委員会****◎第2回技術検討部会の開催**

開催日時 令和4年1月14日(金) 10:00~12:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 技術検討部会 部会長以下17名

概 要

小柳 誠技術検討部会長の挨拶に続き、

- ・県農林水産部との意見交換会における意見・要望事項
- ・現場研修会の実施に係る内容等

について審議するとともに、

- ・家畜伝染病防疫訓練・講演会の計画状況
- ・今年度の土地改良委員会の取組状況

について報告の後、意見交換を行った。

**石川県土木施工管理技士会だより****JCM セミナー（DVD 講習会）の開催**

開催日時 令和4年1月24日(月) 9:00~17:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 18名

概 要

講習会は、DVDによる講義（事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ、基礎から学ぶ道路（舗装）の維持管理講座）の形式で行われ、受講者にはCPDSが6ユニット付与された。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和3年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「建設業でのやりがい」

株式会社吉光組

藤原 はやて 颯

日本では自然災害が頻発しており、豪雨による河川の氾濫や地震による津波災害などがあげられます。これら自然災害から人々を守る仕事が建設業で、河川の氾濫に備えた堤防強化など、様々な場面で人々を自然災害から守っています。

私は河川の現場で仕事をすることがありました。その時は工事を通して少しでも人の役に立ち、自然災害から人々を守れると思うとやりがいを感じることができました。

他にもやりがいを感じるすることがありました。例えば、土木であれば橋や道路をはじめ多くの人や車が通行する場所など、生活を支える構造物に携わることができます。地図に残る構造物は、後世まで受け継がれると想像すると高揚感を感じます。私も地図に残るような構造物に携わり、永続的に人々の生活を支える仕事をしてみたいです。

そんな私は梯川のそばで育ち、工業高校を卒業後、弊社に入社しました。入社前は、建設業に対し汚い、キツイといったイメージが強かったです。確かにキツイことや汚いことがあるかもしれませんが、それは過去のイメージであり、現在の建設業ではICTが数多く取り入れられています。測量では、かつて人力でデータを入力していましたが、現在ではドローンによって上空から撮影した映像をもとに形状や長さ、高さなどを計測することが多くなっています。このICT施工により、私の様な若い世代が活躍できる機会が年々増加しています。このようなことが建設業に対してのイメー

ジ向上に繋がればと思います。若い世代がICTを活用することで、自分の強みになり仕事に対してのやりがいも得られるようになるでしょう。

建設業は生活の基盤となる住宅や道路、河川、鉄道、空港など、普段から多くの人が利用する場所を造るためになくてはならない仕事です。近年ではエッセンシャルワーカーという言葉で再評価されています。また災害時は、豪雨災害等での災害復旧活動など、多くの場面で活躍しています。入社当時は何をして良いのかわからず、先輩方の指示を聞いてから作業をしていました。これでは自分自身の向上が望めないと思い、何か自分の強みを見つけることにしました。すると仕事に対して意欲がわき、やりがいも感じるようになりました。もう一つ重要なスキルが人とのコミュニケーションです。施工管理という仕事において人とのコミュニケーションをとることで、仕事がスムーズに行えるようになり、現場の雰囲気も向上します。沢山の業者さんとベクトルを合わせて工事が完成すれば達成感もひとしおです。

私もいつか地図に残るような大きな構造物を造り自然災害から人々を守れるよう、安心・安全なインフラを提供していきたいです。

建設業は人々の生活を支える基盤です。そんな仕事に誇りをもち、この仕事に対してやりがいを見出し、これからも建設業で活躍できるように頑張っていきたいです。

業 界 時 報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和3年分）

令和3年12月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	18	(18) 52	10	(18) 80	① (13) 60	② 727
小松監督署	7	(7) 9	① 6	① (7) 22	(5) 24	① 298
七尾監督署	3	① (6) 12	2	① (6) 17	① (6) 21	② 158
穴水監督署	① 10	(3) 5	2	① (3) 17	(1) 10	① 78
計	① 38	① (34) 78	① 20	③ (34) 136	② (25) 115	⑥ 1,261
前年同期	① 34	(25) 57	① 24	② (25) 115		⑧ 1,051

() 内は木建工事 ○内は死亡者数
対前年同期比の増減 建設業：115件→136件【21件（18.3%）増加】 全産業：1,051件→1,261件【210件（20.0%）増加】

令和3年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
10月分	362	179	202.2%	1,451	1,032	140.6%	1,813	1,211	149.7%
11月分	200	85	235.3%	1,387	1,497	92.7%	1,587	1,582	100.3%
12月分	43	110	39.1%	3,093	1,033	299.4%	3,136	1,143	274.4%
年度累計	1,699	1,502	113.1%	20,645	13,050	158.2%	22,344	14,552	153.5%
元年度累計		2,390	71.1%		19,648	105.1%		22,038	101.4%
30年度累計		2,551	66.6%		20,344	101.5%		22,895	97.6%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
10月分	2,432	4,589	53.0%	1,244	653	190.5%	3,676	5,242	70.1%
11月分	4,153	2,457	169.0%	150	6,665	2.3%	4,303	9,122	47.2%
12月分	2,301	2,493	92.3%	556	1,194	46.6%	2,857	3,687	77.5%
年度累計	34,872	34,331	101.6%	11,634	22,236	52.3%	46,506	56,567	82.2%
元年度累計		37,038	94.2%		12,798	90.9%		49,836	93.3%
30年度累計		31,601	110.4%		9,010	129.1%		40,611	114.5%

合 計（民間＋官公庁）

	令和3年度	令和2年度	%
10月分	5,489	6,453	85.1%
11月分	5,890	10,704	55.0%
12月分	5,993	4,830	124.1%

	令和3年度	令和2年度	%
年度累計	68,850	71,119	96.8%
元年度累計		71,874	95.8%
30年度累計		63,506	108.4%

新入会ご挨拶**北川土木株式会社**

所 在 地 石川県白山市徳光町161番地

代表取締役 上田 大造

この度は、入会をご承認いただきまして誠にありがとうございます。若輩ではございますが、本会の名に恥じぬように社員一同、自分たちができることをしっかりと見極め、地に足をつけて着実に「進化」と「変化」で更なる時代に向けて挑戦をしていきたいと考えます。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

**株式会社 酒谷組**

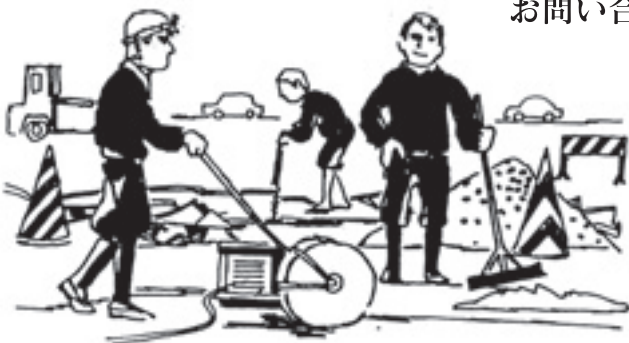
所 在 地 石川県白山市八田町112番地3

代表取締役 酒谷 正志

この度、入会させていただきました(株)酒谷組と申します。
コロナ禍で大幅な景気悪化が懸念される中、建設産業は、屋外で事業を進めることが多いため現場においては、感染者の報告は少ないように思われます。
地域社会に貢献し、信頼され感謝される建設業を目指し、地域を支える役割を力強く果たしてまいります。
今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

不慮の災害事故発生にそなえて**全建協連総合補償制度
自動車保険**

お問い合わせは・・・

**石川県総合建設業協同組合**損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

県協会からのお知らせ

「協会報12月号」の訂正について

昨年12月発行の「協会報12月号」7ページの「優良建設技術者」の氏名に誤りがありましたのでここに訂正しお詫び申し上げます。

誤	正
濱田孝正（西村建設株式会社）	濱田孝正（西村建設株式会社）

令和4年2月行事予定

2月 1日(火)	事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)
	事務担当者説明会 (加賀建設業協会)
2日(水)	足立敏之参議院議員 国政報告会
7日(月)	正副会長会議 常任理事会
9日(水)	全建 総務委員会 (Web会議) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会 (ホテル金沢)
15日(火)	会報編集委員会 遠隔臨場講習会 (～16日)
16日(水)	北陸地方整備局との意見交換会 (Web会議) (ホテル日航金沢)
17日(木)	入職前研修 (～18日)
18日(金)	石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー (七尾鹿島建設業協会)
	広報研修委員会 企画部会
21日(月)	(一社)金沢港振興協会 第2回理事会 (金沢ニューグランドホテル)
22日(火)	石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー (小松能美建設業協会)
	北陸地方建設事業推進協議会 工事施工対策部会 (Web会議)
	土地改良委員会 県農林水産部との意見交換会 (金沢ニューグランドホテル)
	建築委員会 環境・住宅部会
24日(木)	石川県産業教育振興会 第2回理事会 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)

令和4年3月以降の行事予定

3月 2日(水)	北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会 (新潟 アートホテル新潟駅前)
3日(木)	土地改良委員会 現場研修会 (石川県建設総合センター、河北潟)
	i-con 講習会 (羽咋都市建設業協会)
4日(金)	正副会長会議
7日(月)	土地改良委員会 家畜伝染病防疫対策訓練 講演会
9日(水)	情報共有システム講習会 (～10日予定) (七尾鹿島建設業協会)
11日(金)	インフラDXセミナー
15日(火)	全建 協議委員会 (東京 経団連会館)
17日(木)	税財務講習会 (奥能登総合事務所)
18日(金)	廃棄物講習会
25日(金)	全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
4月 4日(月)	正副会長会議 常任理事会
5日(火)	新入社員研修 (～6日)
6月 7日(火)	全建 総会 (東京 経団連会館)
10日(金)	測量コンテスト (予備日：17日) (金沢市ものづくり会館)
10月27日(木)	北陸地区建設業協会 地域懇談会 (富山)

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

2月 4日(金)	建築部会：全体会
7日(月)	役員会：常任理事会
9日(水)	青年委員会：情報発信セクション 青年委員会：技術防災セクション
10日(木)	監理技術者講習
16日(水)	現場責任者研修会
22日(火)	青年委員会：幹事会
25日(金)	企業経営者・後継者等研修会 青年委員会：全体会

《お知らせ》

3月 3日(木) 献血奉仕活動

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

2月 1日(火) 事務担当者説明会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

2月 1日(火)	事務担当者説明会
4日(金)	キャリア教育 (丸内中学校)
22日(火)	石川県土木施工管理技士会 DVD セミナー

《お知らせ》

3月20日(日) こまつ水辺クリーンデー

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

2月22日(火) 理事会

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

2月 4日(金) 定期健康診断 (羽咋市シルバー人材センター)

《お知らせ》

3月 3日(木)	i-con 講習会
29日(火)	理事会
下旬	県管理河川の堤防・護岸点検パトロール
4月26日(火)	理事会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

2月18日(金) 石川県土木施工管理技士会 DVD セミナー

《お知らせ》

3月 9日(水)	情報共有システム講習会 (～10日)
4月 6日(水)	監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

2月 9日(水) 理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

2月10日(木)	建災防幹事会
17日(木)	理事会

関係機関からのお知らせ

石川労働局より

アスベスト
石綿の有無の解体・改修・各種設備工事の
受注者の皆さまへ事前調査結果の報告が
施工業者（元請事業者）の
義務になります！

2022年4月1日着工の工事から適用

事前調査とは？

- 施工業者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際には、工事の規模、請負金額にかかわらず、事前に法令に基づく石綿（アスベスト）の使用の有無の調査（事前調査）を行う義務があります。
 - 建築物の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者または日本アスベスト調査診断協会の登録者が行う必要があります。
- ※2023年10月から着工する工事に適用。ただし、それ以前でも資格者による調査を行うことが望ましいです。



詳しくは都道府県労働局、労働基準監督署へ。厚生労働省のサイト（裏面参照）でも情報を掲載しています。

事前調査結果の報告とは？

- 事前調査は原則全ての工事が対象です。一定規模以上の工事は、あらかじめ、施工業者（元請事業者）が労働基準監督署と自治体（自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの）に対して、事前調査結果の報告を行う必要があります。（対象工事は裏面参照）
- 石綿事前調査結果報告システムを使用すれば1回の操作で労働基準監督署と自治体の両方に報告することができます。

石綿事前調査結果報告システム
<https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp>※システムは2022年3月に公開
予定です。公開までは、事前
調査結果の報告制度のページ
に自動転送されます。※システムの利用にはgビズID
（gビズプライムまたはgビズ
エントリー）が必要です。gビ
ズIDの発行手続きは↓
<https://gbiz-id.go.jp/top/>

石綿事前調査結果報告システム

検索

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

・都道府県労働局・労働基準監督署

R3.11

つづきは次ページへ

事前調査結果の報告の対象となる工事・規模基準

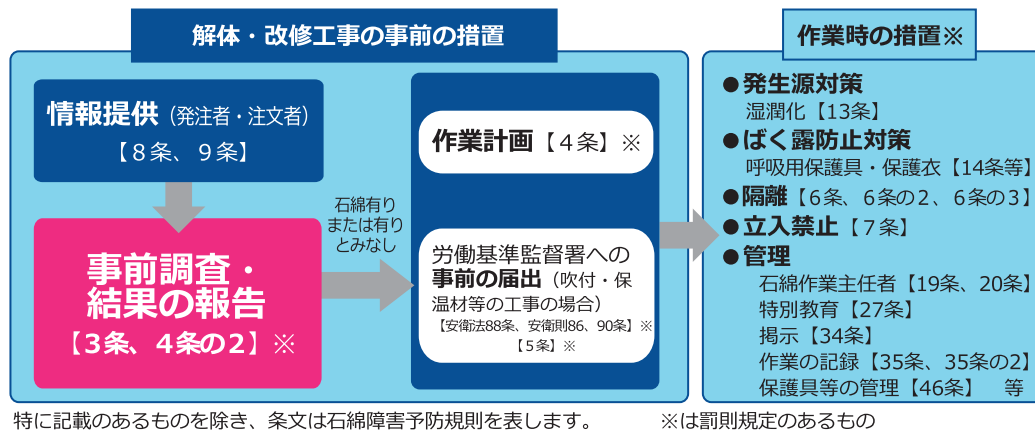
以下に該当する工事は報告が必要です。（石綿が無い場合も報告が必要です。）

工事の対象	工事の種類	報告対象となる範囲
全ての建築物 (建築物に設ける建築設備を含む)	解体	解体部分の床面積の合計が80㎡以上
	改修（※1）	請負金額が税込100万円以上
特定の工作物（※3）	解体・改修（※2）	請負金額が税込100万円以上

- ※1 建築物の改修工事とは、建築物に現存する材料に何らかの変更を加える工事であって、建築物の解体工事以外のものをいい、リフォーム、修繕、各種設備工事、塗装や外壁補修等であって既存の躯体の一部の除去・切断・破碎・研磨・穿孔（穴開け）等を伴うものを含みます。
- ※2 定期改修や、法令等に基づく開放検査等を行う際に補修や部品交換等を行う場合を含みます。
- ※3 報告対象となる工作物は以下のものです。（なお、事前調査自体は以下に限らず全て必要です。）
- ・反応槽、加熱炉、ボイラー、圧力容器、煙突（建築物に設ける排煙設備等の建築設備を除く）
 - ・配管設備（建築物に設ける給水・排水・換気・暖房・冷房・排煙設備等の建築設備を除く）
 - ・焼却設備、貯蔵設備（穀物を貯蔵するための設備を除く）
 - ・発電設備（太陽光発電設備・風力発電設備を除く）、変電設備、配電設備、送電設備（ケーブルを含む）
 - ・トンネルの天井板、遮音壁、軽量盛土保護パネル
 - ・プラットホームの上家、鉄道の駅の地下式構造部分の壁・天井板

事前調査結果を踏まえた工事の実施（石綿障害予防規則の規制概要）

事前調査の結果、石綿有りの場合（または有りとみなす場合）は、法令に基づく措置が必要となります。適正な石綿飛散防止・ばく露防止措置を行う上で、石綿の有無を判断する事前調査は大変重要です。



詳しくは、石綿総合情報ポータルサイトをご覧ください!!



「石綿総合情報ポータルサイト」は、2021年12月以降リニューアル予定です。

石綿障害予防規則の概要、法令改正の内容、建築物等の解体・改修工事や石綿の分析に関するマニュアルなど、事業者、作業員、発注者それぞれに向けた情報を掲載しています。

また、事前調査者の講習機関、事前調査結果報告システムについてもこちらでご確認ください。

石綿総合情報ポータルサイト

検索

